

医療の改善活動、共有

岐阜市で全国大会

「医療の改善活動」全国大会in岐阜が、岐阜市橋本町のじゅろくプラザで開かれ、各地の医療機関な

どが取り組みを報告し、ノウハウを共有した。



病院スタッフが取り組みを報告した医療の改善活動全国大会in岐阜市橋本町、じゅろくプラザ

全国の病院など138施設でつくる一般社団法人医療のTQM推進協議会が毎年各地で開いている。今回は「ダイバーシティー新世代の改善活動」をテーマに実施、松波総合病院(羽島郡笠松町)の松波和寿病院長が大会長を務めた。会員の看護師、理学療法士、作業療法士らが参加した。回復期病棟での患者の床擦れをなくすためにスタッフ全員で行った対策や、食

事を安全に自己摂取できるようにするためのマニュアル作成、資機材の準備を均一化して誰もが同じ準備を行えるようにすることで時

間外労働の削減を目指す取り組みなどを報告した。出席者たちは業務に生かそうと、熱心に聞き入った。

(山田俊介)